

「みがき合い、支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」
＜1月の学校経営方針＞

【振り返りの活用】…改善策・解決策のTry!

3学期は、12月に実施した「学校評価アンケート」や「振り返り」を活用し、課題を明らかにし、改善策や解決策等の具体的な取り組みをすることで、当初イメージした「ゴール」に近づけていく学期である。今月はそのスタートとなる。重点目標に対する達成度を受けて、挑戦すべき事柄を明確にしていきたい。

全ての取り組みには意味がある。何のためにそれをやっているのか、どうしてそうしなければならないのか、そのねらいや意図を十分に意識しないと取り組みそのものが目的になってしまうことがある。白山中をよりよくするための改善策や手段はいくらでも考えられる。大切なのは、「何のために」にやっているのかという意図性を共有することである。

「白山ブランド」の構築のために

(1) 授業改革 (主体的・対話的で深い学び)

○ 確実な「振り返り」の積み重ね

- ・なぜアクティブラーニングによる授業改善が必要なのか。(生徒に必要な資質・能力を育成するため)
- ・なぜ学習形態を工夫し、一人で考える、ペアやグループで考える、全体で思考する場を設定しなければならないのか。(主体的な学び・対話的な学び・深い学びを生み出すため)
- ・なぜ「振り返り」で「何がわかったか?」「何ができたか?」を「80字・2文接続詞」で書かせるのか?(メタ認知をつくるため、思考・表現を可視化するため)

(2) 心の教育

- なぜ道徳で「命の尊さ」や「思いやり」という価値項目に重点を置くのか?(学校教育目標に迫り、いじめに対する意識を高めるため)
- なぜ授業で「学び合う」場を設定するのか?(違いを認め合えるようにするため)
- なぜ個別の支援計画や指導計画を見直すのか?(特支教育の視点での個別指導の充実や長欠対策推進のため)

(3) 安全安心

- なぜ避難訓練を改善しなければならないのか?(実際に則した主体的な避難や助ける側の中学生を育成するため)
- なぜ体力向上、治療勧告による治癒率向上、朝食の摂取率向上を図るのか?(たくましく生きる生徒をめざすため)
- なぜ新年度に向けた校内の管理場所の点検・補修を図らねばならないのか?(気づきを作り出し、場を美しくするため)

(4) 生徒主体

- なぜ卒業関連イベントに力を注ぐのか?(学校教育目標を具現化するための集大成となる行事だから)

「みがき合い、支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」
＜1月の学校経営方針＞

- なぜ生徒会活動、委員会活動、部活動等で組織運営を推進し、主体性を育まなければならないのか！（ALが授業改善だけでなく学校改善の視点そのものだから）

（5）三大伝統（挨拶、歌声、清掃）

- なぜ「明るく元気な挨拶」なのか？（相手に心を開き、積極的に関わろうとする気持ちを表現するため）
- なぜ「美しく響く歌声」なのか？（卒業関連イベントに向けて日々取り組むことで、「みがき合い・支え合う」という学校教育目標に迫るため）
- なぜ「心を磨く清掃」なのか？（「気づきの清掃」を押し進めることで「心豊か」という目標に迫るため）

（6）地域貢献

- なぜ学校に地域人材を導入し、ボランティア活動を活発にさせるのか？（生徒が将来の地域の担い手であり、資源となるから）
- 「放課後学び隊」「白山中を美しくする活動」を導入する訳は？（生徒に具体的なボランティア活動を見せることで学ばせたいから）

「研究と課題」のために

- 「自ら、共に学び、活用できる生徒をめざす！」のはなぜか？（これからの時代を担う生徒に必要な資質能力を養うため）
- 「人間関係づくり」はなぜ？（コミュニケーション能力を高めていく必要があるから）
- 「キャリア教育」の推進はなぜ？（急務の課題、進学指導が進路指導ではないから）

「連携推進」のために

- なぜ「小中一貫の日」を開催するのか？（ギャップ軽減、学力向上、長欠対策のため）
- なぜ「学校評価」等をHPや学校便り等で配信するのか。（子供の教育は学校だけでなく家庭や地域でも進めていかなければならないので、学校教育の理解を得るため）